

農協と組合員をつなぐ広報誌

なかしゅんぱ



澄みきった青空のもと「豊原運動会」が、5月28日(日)に開催されました。

地区のみなさんが年齢に関係なく参加できるよう趣向を凝らした競技に、参加された人も応援する人たちも心が一つになって元気いっぱい楽しみました。


JA中春別

6月号

2017 Vol. 473

「明郷伊藤☆牧場」へ視察

青年部会（柿本竜矢部会長）では、若手青年部員の知識向上及び部員間交流を目的として、5月23日に道東あさひ根支所のファームレストラン・観光牧場を運営する「明郷伊藤☆牧場」に視察をお願いし、有限会社伊藤畜産の伊藤泰通代表取締役に対応していただきました。

いつもと思考を変えて ファームレストランを学びました

伊藤さんは現在3代目で別海高校、札幌学院大学を

卒業後に札幌市民生協（現コープさっぽろ）に就職さ

れ、帯広で6年間勤めまし
た。Uターンするとしたら



体力やいろいろな面で30歳までかと思いき、平成6年の30歳の時に円満退職。数カ月別海町内で実習を積み実家へ就農。平成10年には将来の雇用を考え有限会社化し、現在は従業員14人（牧場で7人、レストランで7人）。奥様も会社役員として経営の他、繁殖管理、

搾乳作業などをされています。

ソフトクリームからスタート、レストランで提供している短角牛、野菜などは自家産をできるだけ使用

取締役の伊藤さんは主に、肥料散布と牧草収穫、疾病牛の管理や獣医対応を行っています。作業の外部委託は無く、現在ファームレストランを運営していますが、最初はソフトクリーム屋さんからスタートし（根室市の補助金を活用）、最初の屋



内レストラン（1階建）、現在のレストラン（床面積122㎡で1、2階合わせて約60席のチーズやケーキ類、ソフトクリームのコーナーも併設。国から6次産業化認定を受け補助金を活用）と年々増加する来客数に対応できるように徐々に規模を拡大。

ソフトクリームはべっぴん乳業興社と自家製生乳をミックスし、レストランで提供している短角牛も自家産を提供。野菜も自家産からできるだけ国内産を使用し、チーズは地元産を料理によってブレンドして使っているそうなので、飼養家畜は、牛、やぎ、羊、ウサギ、豚、鶏、馬。牛は160頭飼養（うち経産牛100頭）パーラー牛も放牧。搾乳施設はパーラー8頭Wで搾乳作業人数は2人。0.5人は給餌作業のため。足バンド



の繁殖や疾病のデータを拾い、授精させる牛と獣医師にかかる必要のある牛は、牛舎手前の群の枠に収まり、広い群の中から牛を捕まえる必要がほとんどない。入口に獣医師と授精師の使用する長靴が3サイズ配置。これはヨーネなどの伝染病防止対策で、根室市の酪農家は設置されているとの事。敷料はオガ粉(月15m使用)に消石灰3%配合することで、以前より乳房炎は減少しました。最近、NOSAIの乳房炎とワクチン、哺育の

疾病や分娩牛はホワイトボードで管理

3つのプログラムを活用しています。炭カルと重曹は自由に食べられるように飼槽に配置。

給餌と餌押し作業の手書きの台帳が置かれ、餌は誰がいつどの畑で収穫したか、餌を給餌したか。何時に誰が餌を押し作業を行ったかの記載してありました。伊藤さんは牛舎につけられたカメラで状態確認のほかに何か異常があった時のための判断材料として



て重要視し、MUNは確実にチェックしていると言う事でした。ミキサは毎回2.2tと重量決めていて、配合は一種類のみ(パルプも混合)。除籍は毎年平均3.4~3.9産の間との事。疾病や分娩牛はホワイトボードで管理されており、場内の無線LANで従業員との情報共有していました。質問に丁寧に説明していただき、大変有意義な視察研修会となりました。大変忙しい中、対応していただきました伊藤さんありがとうございました。

互いに情報交換をし交流を深めました

青年部新入部員と農協職員との交流会

青年部(野矢貴志部長)では、青年部員と農協職員の繋がりを持ち今後の営農に役立ててもらえるように、5月20日(土)新入部員・青年部員・農協

職員の交流会を別海コミュニティセンターで行いました。

当日は25℃を超える夏先取りの好天に恵まれ、準備をする部員は額に汗を流しながらスタート。集まった部員(うち新入部員2人)と職員(うち新人職員3人)たち28人は、焼肉を囲みながら「今年の草は順調かい?」と情報交換や、「休みは何して遊んでるの?」などとテーブルごとに盛り上がり話題が尽きることなく、部員と農協職員間の交流を深めました。



担い手育成支援強化など 地域の活性化をはかる

平成28年度中春別サブ集落總會が5月8日(月)開催されま
した。

来賓の小湊組合長の挨拶
の後、議案に入り、第1号議

案から第3号議案まで可決
承認されました。



第4期中山
間事業が27年
よりスタート
し3期からの
継続的事業を
中心に取り組
みを展開して
まいりました。
29年度につ
いては、今後
も継続的な事
業と地域活性
化を図るため
担い手育成支
援強化など、
農業農村のも
つ多面的機能
の維持発揮を
図り協定者の
皆様に理解し

ていただけるように取り組
んでまいります。

今年度の取り組み として

修学資金制度の助成

今年度の新たな取り組み
としては、担い手対策経費
として農協が協定などを結
ぶ学校の学生を対象とし、
修学資金制度の助成を行う
事となりました。

なお、平成29年度中春別
サブ集落新役員については、
以下の通りとなっております。

集落長	遠藤 均
副集落長	柿本 鶴雄
会 計	関矢 泰朗
監 事	売場 純
幹 事	小湊 均
〃	片野 大介
〃	望月 英彦
〃	山崎 浩二
〃	田口 豊次
〃	乾 知広
〃	高橋 直哉



乳牛の基礎となる 哺育育成技術の学習

中春別乳牛改良同志会地区外視察講習会



中春別乳牛改良同志会では更なる酪農経営の発展を指し、乳牛の基礎となる哺育育成技術を学習することを目的に、上春別地区(株)トータルハードカーフサービスにて「地区外視察講習会」を参加者同志会、青年部の家族を含め26人中、開催しました。



(株)トータルハードカーフサービスは2014年4月に会社が設立され、カーフト牛舎で飼養し、現在120頭を哺育育成する哺育専

門の会社となっています。講習会の中では(株)トータルハードマネージメントサービス代表取締役社長の佐竹氏が説明され、各哺育ステージごとの留意点、疾病時の処置、対策をアドバイスしていただきました。

保温も大切だが、換気の方が重要

の見解、最新の研究情報からくる技術を目にし、参加者からも様々な意見、質問が出て有意義な講習会となったと思います。

最後に今回の開催に当たり(株)トータルハードカーフサービスの皆様にはご多忙

中、講習会を引き受けてくださり、御礼申し上げます。

施設内では陽圧換気システムを取り入れられ、佐竹社長によると「保温も大切だが、換気の方が重要」とおっしゃられ、新鮮な空気が常に仔牛の鼻先に当たる様、設計されています。また、当会社で行われている除角を実際に見学し、除角時に鎮静剤、麻酔、消炎剤を使用し、仔牛が全く暴れず人にも牛にもストレスのかからない様になっていました。

今回、獣医師が造った哺育専門の施設を見学し先進的な施設、より現場で様々な症例をみている獣医師として



ちょっとだけ

酪農の仕事を理解できたかな？

カウカウスクールを開催

別海町4Hクラブ連絡協議会



子牛にミルクをあげる「子牛哺乳体験」、初めて子牛と触れ合うことに感激した様子

牛を通して酪農を知ってもらうことを目的に別海町4Hクラブ連絡協議会が、別海中央小学校4年生を対象に5月31日(水)、別海町コミュニティセンターにて「カウカウスクール」を開催しました。

「カウカウスクール」は根室改良普及センターの宿澤普及指導員、宗像普及職員、そして4Hクラブ9人の主

催で行われました。また、春別菅農サポート協議会から3人、stron(スートロンギユウ)から2人の方が視察に訪れました。始めに4Hクラブ遠藤貢

紀会長の挨拶があり、その後、中山農場さんから3頭の子牛を連れていただき、今まで牛に触れたことがない児童たちが

「子牛哺乳体験」をしてもらいました。

始めは「蹴られそうでこわいよ」とミルクをあげるのにも恐る恐るでしたが、遠藤会長から「子牛だから暴れない限り蹴られることはないよ」とアドバイスをいたただくと、徐々に慣れていき「可愛い、毛がふさふさして気持ちい」、中には子牛を初めて見た児童も子牛と触れ合う



模型牛を使って「搾乳体験」、乳がどのように出るのか貴重な経験ができました

ことができ感動していました。

模型牛を使った「搾乳体験」では、実際に乳を搾る体験をしました。最初は搾り方がわからなく苦戦していましたが、手本を見て要領をつかむと「あつ」という間に乳が出て搾られるようになり、貴重な体験になったようです。

牛の勉強会ではプロジェクターを使って「牛の体の構造」や「食べ物」などについて映像を見た後、「餌によって牛乳の味は変わりますか？



牛の勉強会では次々に質問がされました

牛にはどんな病気がありますか？」と、積極的に質問をされるなど牛について詳しく学びました。体験後は児童たちにヨーグルトとクリアファイルなどが配られ、笑顔いっぱい。今回の「カウカウスクール」を体験して、酪農をちょっとでも理解できたのではないのでしょうか。

涼しい根室こそ早めの暑熱対策を

表1 温湿度指数(THI)

		温度(°C)			
		20	22	25	30
湿	10	63	65	68	72
	20	64	66	69	74
	30	64	66	70	75
	40	65	67	71	77
	50	65	68	72	78
度	60	66	69	73	80
	70	66	69	74	81
	80	67	70	75	83
	90	67	71	76	84
	100	68	72	77	86

THI=0.8T+0.01H(T-14.3)+46.3 T:温度、H:湿度
 出典:生産獣医療システム乳牛編3 johnson(1962)

図1 暑熱時の牛の主な兆候

見て分かる牛の暑熱ストレスサイン

- ・寝ない牛、尾を振る牛が増える
- ・日陰や水槽、換気扇の下に群がる
- ・パンティング(方を揺らすような浅速呼吸)が発生する
- ・反芻行動が減る
- ・エサが残る、乳量が減る

1. 暑熱ストレスについて
 暑熱ストレスは、温度と湿度が深く関係しています。表1は、ストレスを感じる程度を表す温湿度指数(THI)です。乳牛の場合、この値が「72」(67という説も)を超えると暑熱ストレスを感じ始めます。表の通り、温度(気温)が20〜22度でも、湿度によっては、乳牛は十分暑熱ストレスを感じています。
 牛舎内に温湿計やヒートス

根室は道内でも冷涼な地域です。涼しい地域ほど、暑い日は応えませんか？ 牛も同じです。たった3日、暑い日が続くだけで乳量が落ちてくる場合があります。
 本当に暑い日が来る前から暑熱対策を万全にしておきましょう！

2. 暑くなると牛はどうなる？
 牛は、体内にルーメンという発酵タンクを持っています。そのため、暑さに大変弱い動物です。人には心地よい気温でも、牛は暑さで参っているかもしれません。牛が暑熱ストレスを受けると、次のような兆候を示しま

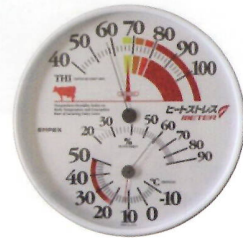


写真1 ヒートストレスメーター
 THIが一目で分かり、乳牛のストレス度合いを把握しやすい

トレスメーター(写真1)を設置し暑熱対策を行う目安にしましょう。



写真2 寝ない牛が増える

す(図1)。もつとも早く表れる牛の変化は、寝ないことです(写真2)。いつもなら牛舎に横たわり反芻する時間に、牛が立ったままだったり、牛の呼吸が速いと感じたら、暑熱ストレスを受けているサインです。

3. 暑熱対策

暑熱対策は、暑熱ストレスに関わる温度、湿度、日照、風速をコントロールすることが必要です。

① 牛舎内の換気・送風

湿度の上昇とともに牛の体感温度が上がります。換気をして、牛舎内の湿度を下げましょう。牛の体温を下げるには、牛体への送風がきわめて効果的です。ファンを全開に回しましょう。

② 日差しをさえぎる

日中に牛をパドックや放牧地

へ出す場合は、庇陰林や日陰のある場所へ放しましょう。

③ 新鮮な水を十分に

暑熱時は発汗により体内の



写真3 飲みたい環境になっていますか？

水分が失われるため、飲水量が増えます。いつも以上に牛が飲みたい時

④ 乾物摂取量を高める工夫

気温や体温の変化と採食行動は連動しています。気温が下がり、採食行動を起こす時間帯の飼料給与やエサ押しが効果的です。

⑤ ミネラルの補給

暑熱時は汗と共にミネラルが流出するため、ミネラルの要求量が増加します。粉碎塩等のミネラル資材を欠かさないうにしましょう。

乳牛が発するサインを察知し、早めの暑熱対策で夏場の乳生産を維持しましょう。



エビカニクスの曲に合わせて全員で全員で体を動かします

堂々と
選手宣誓

豊原地区あげての一大イベント「豊原運動会」が青空が広がる中、5月28日(日)に旧豊原小学校グラウンドにおいて開催されました。



全力で大地を 駆けぬける！

豊原運動会

園児たちによる大玉転がしでは、思う方向に転がってくれなく悪戦苦闘、そんな園児たちの微笑ましい姿に観客席も思わずほっこり。

一般的に100m走と見る人も走る人もヒートアップ。一気に会場は盛り上がりました。

園児たちも練習の成果を存分に発揮しました。

最初の競技は保育園児たちのかけっこ、応援に駆けつけた父母やおじいちゃん、おばあちゃんの「がんばれ〜」の声を背にうけ、一所懸命力走する園児たち。走り終わった後は本部席へ行って景品をいただき、みんな笑顔に。続いて小学生、

当初予定されていましたが5月27日(土)があいにくの雨のため、翌日に順延されての開催となりました。始めに可愛らしい園児たちによる選手宣誓が行われた後、「エビカニクス」の曲にあわせ参加者全員で楽しみながら体をほぐしました。



園児たちも練習の成果を存分に発揮しました



豊原地区の気持ちがひとつ、笑顔がはじけた運動会



「足には自信があるんだ」と健脚を発揮!



ダントツの1位!

午後からは焼き肉に舌鼓を打ち、運動会や一番草の刈り取りなど賑やかに楽しいひと時を過ごしました。

り。競技は次々と続き、「借り物競走」は参加者が大声で借り物を探しゴールへ急ぎ、「むかで競走」は5人一組でチームをつくり全員が息を合わせ、「始めは右足からだよ、1、2、3」と順調に進むはずが、どうしてもこけてしまうチームも。また、「パン食い競走」はいきよいよく走ってパンに食いつくのですが、あせればあせるほどパンが揺れ、なかなか食うことができない人が続出、最後は手をつかんでしまう人など観客席も大笑いとなりました。毎年、趣向を凝らした種目に選手たちも真剣に取り組み、それを見て応援する歓声が豊原地区に響きわたった1日となりました。



各種目に汗を流し親も子供たちも楽しみました



●別海町酪農後継者を育てる会総会が終了

5月24日(水)、「別海町酪農後継者を育てる会(原井松純会長)」の総会が本校会議室で行われ、中司哲雄道議を初めとする11人の役員にご出席いただきました。平成28年度の事業報告や決算報告、平成29年度の事業計画、予算案の他、酪農経営科の今後の在り方について活発な議論が行われました。

参加された役員の中には、今年度から総会に出席される方もおり、本会が実施している事業について熱心に説明を聞かれていました。本会の今年度の事業は、2・3年生の委託実習から始まります。どうぞよろしくお願いいたします。

●【経営科】バーンミーティングに参加!

4月21日(金)、根室ホルスタイン改良協議会主催による「乳牛育成に関する講習会・バーンミーティング」が中標津町南中のホクレン根室地区家畜市場で行われ、酪農後継者養成コース2・3年生の7人が参加しました。

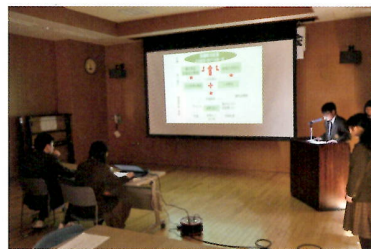


福田氏による審査講習

十勝管内陸別町の酪農家 編田尚弘 様から良い牛の見方の講義を受け、その後未経産牛と経産牛の審査を実際に行い、乳牛のジャッジングを経験しました。参加した生徒は、自分の審査と審査員の考え方の違いを確認し、どの様に乳牛を見るのが良いのか熱心に講評を聴いて、乳牛審査の学習を深めました。

●【経営科】プロジェクト計画発表会を実施!

4月27日(木)、今年度のプロジェクト活動の計画について審議する「プロジェクト計画発表会」が行われました。この計画発表会は、伝統的なプロジェクト学習活動に加え、今日的な要素としてプレゼンテーションをとおして説明する力、計画的に準備を進める力、内容をよりよくするための意見交換や質疑応答を内容の中に盛り込みました。合計4課題が発表され、当日は次年度を見据えて1年生も見学するなど充実した発表会となりました。



発表会の様子

●【農業特別専攻科】春季交通安全講習会

5月20日(土)、毎年恒例となった本校の「野菜苗・花苗即売会」が本校機械庫で行われました。販売実習の一環として酪農経



たくさんのお客様が来てくれました

営科の生徒1年生から3年生までの13人がお客様の対応にあたりました。当日は晴天に恵まれ多くのお客様にご購入いただきました。

●専攻科【酪農機械・施設学】

4月26日(水)と、5月9日(火)～10日(水)の3日間、外部講師をお招きして「酪農機械・施設学」の講義を実施しました。この授業は、搾乳に関する手法や生理、ミルクシステムの構造、また農作業事故が発生した時の対応についての知識を身につける授業です。

【1日目】救急救命講習(AED講習)や農作業事故発生時の対応について、別海消防署 眞嶋 剛様よりご講義いただきました。

【2日目】現場での指導をふまえた搾乳生理と搾乳手法について、根室農業改良普及センター主査内田幸司様より、また、最新のミルクシステムの種類と特徴、適切なメンテナンス・洗浄方法について、北海道オリオン株式会社別海営業所所長 中谷泰久様、酪農事業本部トータルソリューション部(千歳市)和田雅樹様、クリーン化学工業株式会社(恵庭市)吉田憲司様より詳しくご講義いただきました。

【3日目】乳牛のカウコンフォートについて、根室農業改良普及センター主査井堀克彦様より、根釧・道北の事例を紹介していた



カウコンフォート講義の様子

だきながら講義を受け、3日間の最後に、最も基本的な搾乳の正しい手順、乳汁排出のメカニズム、そして、研修牧場の役割について別海町酪農研修牧場吉田達夫場長より、具体的にご講義をいただきました。

3日間の講義をとおして、学生からは「搾乳に関する知識やミルクシステムの仕組み、洗浄方法など、様々な立場の方から学ぶことで、より深く理解できた」、「農作業事故が万が一発生した場合には、今回のAED講習を思い出して対応していきたい」という感想がありました。

講義にご協力くださいました講師の先生方に、この場をお借りしてお礼申し上げます。

JAグループ通信

JAグループの連合会・中央会の活動内容を紹介します。

JA北海道大会決議事項の実践やその時々のトピックスなど、組合員の皆様へ定期的に伝えたいです。

各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。

JA北海道中央会



JAグループ北海道は、平成29年度の農業政策提案事項の検討にあたり、基本農政並びに各作目別対策本部委員会を開催しました。

基本農政対策本部委員会では、国際貿易交渉に係る動向を共有するとともに、世界の諸情勢を見極めながら国際貿易交渉等への対応について機動的な運動展開を図ることを確認しました。また、持続可能な北海道農業の確立に向けて、担い手・人材力強化や産地体質強化などの作目共通対策の組織討議原案を協議、決定しました。

今後、各地区・JA段階での組織討議を行いながら、現場の意見を踏まえた要請活動につなげて参ります。

お詫びと訂正文

5月号の10ページ目、JAグループ通信の「JA北海道新連」は誤りでした。正しくは「JA北海道新連」に訂正します。

JA北海道新連

JAバンク北海道は、5月に開催された「日刊スポーツ豊平川マラソン」へ協賛しました。当日はランナーのゼッケンに「JAバンク北海道」のロゴを出したほか、ちよリスグッズの抽選会(400人以上の方が参加)や、ちよリスと一緒に撮った写真をSNSに投稿した方へグッズなどをプレゼントする企画を行いました。

今後もイベントへの参加や協賛を通じて、地域の皆様に応援してまいります。



ホクレン

社会・地域貢献活動「シーズプロジェクト」の一環として、児童養護施設の子どもたちに北海道日本ハムファイターズの試合を通じて元気と勇気を感じ、地元・北海道への愛着を持ってもらおうと、児童養護施設9施設に札幌ドームでの観戦チケット160枚と限定ユニフォームをプレゼントしました。この取り組みは、2013年から継続して実施しており、今年で5年目になります。



JA共済連北海道

地域貢献活動の一環として生徒向けの交通事故対策活動に取り組んでいます。スタントマンが交通事故を再現して危険性を疑似体験(スケアード・ストリート技法)させる交通安全教室を開催し、自転車走行のルールやマナーを学んでいただいています。今年度は道内8つの高等学校で開催を予定し、活動を通して交通事故が減り、組合員・地域の皆様が安心して暮らせる地域づくりに貢献していきます。



JA北海道厚生連

組合員ならびに地域住民の皆様の生命と健康を守るため、本会事業の積極的な啓蒙推進を図ることを目的として、広報誌「すまいる」を発行しております。年3回発行しており、様々な医療・健康情報を発信しております。ホームページにもバックナンバーを掲載しておりますので、是非ご覧くださいます。



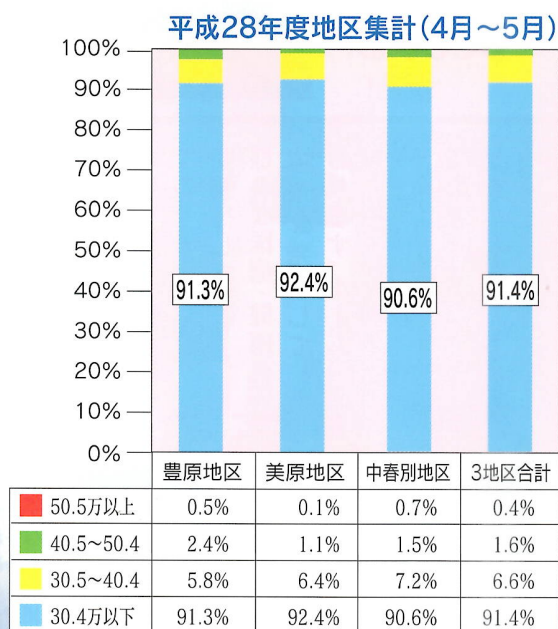
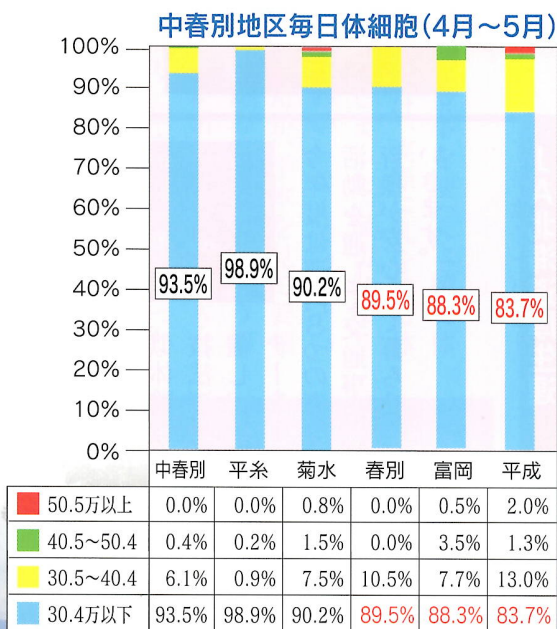
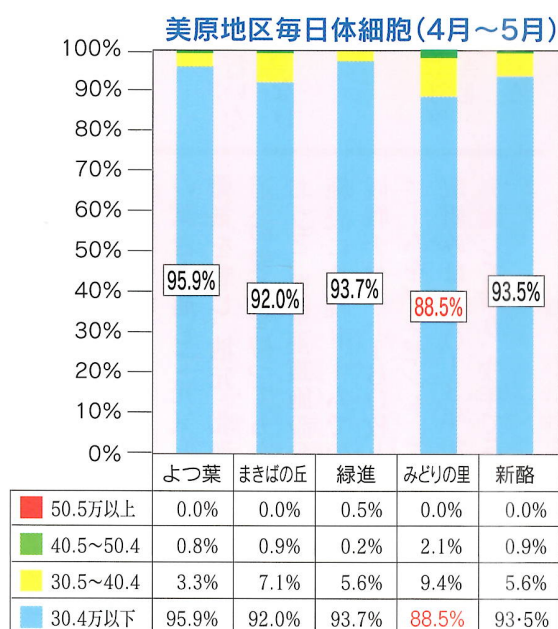
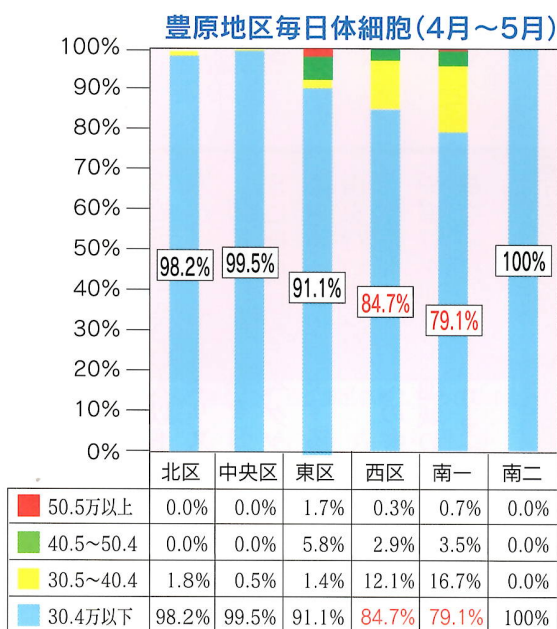


生乳汚染事故を無くそう！

- 抗生物質混入事故……………JA中春別発生件数 0件 管内合計では0件です。
- 生菌による汚染事故……………JA中春別発生件数 0件 管内合計では0件です。
- 異物混入(小動物)、加水、血乳による汚染事故…JA中春別発生件数 0件 管内合計では0件です。
- 異臭、異常風味による汚染事故……………JA中春別発生件数 0件 管内合計では0件です。

「一言あれば防げる事故!!」

良質生乳生産推進委員からの標語





ドド〜ン貯金 キャンペーン

2017夏

定期貯金、定期積金を
一定の条件で
お預けいただいたお客様に
全道合計3,000名様にプレゼント!

キャンペーン期間: 6/1(木) ▶ 7/31(月)



ドド〜ンと
北海道産肉詰合せ
(牛・豚・羊/3kg)

A賞 200名様
25,000円相当

B賞 ドド〜ンと選べる!
JA特産品3点セット

全道のJAから新鮮な農畜産物を厳選して集めた
“全道のJAおすすめ特産品”から
3品(10,500円相当)をお選びいただけます。

300名様



C賞 ドド〜ンと選べる!
JA特産品1点

全道のJAから新鮮な農畜産物を厳選して集めた
“全道のJAおすすめ特産品”から
1品(3,500円相当)をお選びいただけます。

500名様

Wチャンス 各賞にハズレてもチャンス!
JA特産品1点または
農協商品券を

全道のJAおすすめ特産品(3,500円相当)
または
農協商品券(3,000円相当)
のどちらかを抽選でプレゼントいたします。

2,000名様



ドド〜ンと先着で! left × CHORIS
フロストポーチプレゼント!

さらに JAカードを新規申込の方に CHORIS × CHORIS
クーラーバッグ&アイスバックプレゼント!

プレゼント応募条件
対象商品(受入条件)

定期貯金
(1年以上)
新規または
増額10万円以上

定期積金
(1年以上)
契約額
12万円以上

●対象者/個人の方に限ります。
●抽選の権利/定期貯金(1契約10万円につき1口)
定期積金(1契約12万円ごとに1口)
※お一人様何口でも応募可能です。
※増額蓄積の場合は、増額分のみ対象。

【応募方法】窓口でお渡りする応募用紙に必要事項を記入し、窓口へお持ちください。
【当選発表】商品のお届けをもって代えさせていただきます。(案内は平成29年10月予定)
【注意事項】当選後の権利の譲渡、商品の交換・換金には応じられません。
※今回お預入された定期貯金または定期積金を中途解約された場合は当選の権利を失います。

農協独自のスピードくじキャンペーン実施中!!

お問合せ先 JA中春別金融共済課 貯金係 TEL0153-76-2314まで

第1回 理事会の動き

平成29年5月30日(火)

議案

1. 平成28事業年度行政庁業務報告書の提出について
2. 平成29営農年度財産造成に伴う資金の貸付について
3. 平成29年度良質乳生産基盤強化支援事業の実施について
4. 平成29年度乳用後継牛緊急確保事業の実施について

報告事項

1. 組合員の加入について
2. JA全国監査機構による一般監査の実施について
3. 平成28年度法人税等の納付額について
4. 牛魂祭・農作業安全祈願祭について
5. 「JA北海道大会決議事項の着実な実践に関する」決議文内容について
6. 共済一斉推進の実績について
7. JAバンク北海道夏期特別推進運動「みんなでおいしい北海道ドダウン貯(ちょ)夏のキャンペーン」の実施について
8. 平成29肥料年度推進要領について
9. 平成29年度4月末営農生産関連実績について

協議事項

1. 地区別組合員懇談会の意見について
2. 第43回通常総会の対応について
3. 持続可能な北海道農業の確立に向けた組織討議について

4月 乳質乳価一覧表

(単位:円)

4月分乳代支払単価

			単価	算出基礎	支乳 払価	前 年 期	差	項 目	単価(円)/kg%
乳 脂 肪 分			915.396		36.38	35.79	0.59	乳 脂 肪 分 ①	36円38銭
無 脂 乳 固 形 分			578.986		50.92	49.83	1.09	無 脂 乳 固 形 分 ②	50円92銭
補給金(脱バ・チーズ・生クリーム)			8.3428		8.34	6.57	1.77	補給金③チーズ奨励金④	8円34銭
計 画 チーズ 奨 励 金			1.9532						
乳 質 単 価	生菌数	ランク1	2	306,052,485.5	3.74	3.73	0.01	脂 肪 率 全道	3.97%
		ランク2	0	6,556,550.0				農 協	4.07%
		ランク3	-3	85,738.2				無 脂 固 全道	8.79%
	体細胞数	ランク1	2	271,656,145.5				形 分 率 農 協	8.77%
		ランク2	1	21,441,712.5				成 分 乳 価 全道	95円64銭
		ランク3	-2	3,580,118.7				①+②+③+④=⑤ 農 協	96円36銭
合 計					99.38	95.62	3.46	乳 質 乳 価 全道	3円74銭
								乳 代 合 計 全道	99円38銭
								農 協	100円1銭
								⑤+⑥ 差異	0円72銭

食と農業の理解を深める教材を寄贈

中春別小学校と野付小学校

5月19日(金)に食農教育補助教材を中春別小学校と野付小学校へ寄贈いたしました。

JAバンク食農教育応援事業の一環として、平成20年度から実施している全国の小学校5年生を対象に、「農業とわたしたちの暮らし」とした教材に加えてDVD補助教材を寄贈いたしました。

私たちの生活に欠かせない食と農業、環境と農業の密接なかわりを意識し、理解を深めることを目的に展開しており、子どもたちがより農業への興味を持つきっかけとなることを願っております。



野付小学校へ補助教材とDVDを寄贈する大山常務

中春別小学校の5年生の児童たちに教材とDVDを寄贈しました



将来のためにできること



日射しが強い中、汗を流し植樹作業をする参加者

毎年開催されています別海町主催による植樹祭が5月27日(土)に別海ふるさとの森(ふれあいキャン

プ場横)において、盛大に開催されました。

雨の予報で前日から開催が心配されましたがくもり空の中、多数参加のもと開催されました。当農協組合員・職員合わせて15人程が参加し、0.70haの土地にアカエゾマツ1500本の植樹を行いました。

木の根が固く張りめぐらされた箇所もありましたがうまく回避しながら、皆さん額に汗を流しながら作業し無事にすべての苗木を植樹することができました。

別海町植樹祭



広い牧草地でのんびりゆっくり育てよ

毎年行われていました、共和育成牧場の夏季預託事業が(株)なかしゅんべつ未来牧場に引き継がれてから初めての入牧作業が、5月27から4日間にわたって行われました。総頭数361頭の牛が家畜車で運びこまれ、個体識別番号とネック番号を確認し、授精牧区ごとに振り分けられました。広大な草地に放たれて、のびのびと青草を食む牛の姿を見ると別海町にも初夏が訪れ感じます。



組合員の 広 場



作品名「上湧別チューリップ畑」5月18日頃



作品名「遙かなる羅田連峰」4月下旬頃

今月号の組合員の広場は岡林春男さんの作品を掲載いたしました。組合員の広場では習字や俳句、短歌、絵画、写真など多数の作品を募集しております。営農振興課 丸山までお気軽にご連絡ください。